

No.89

2014

11月15日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
下井 美紀男
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



深まりゆく秋の日!! 萩の郷文化祭り ふれあい広場 開催



さわやかな秋晴れに恵まれた十月十八・十九日、多くの皆様のご参加のもと、萩の郷文化祭りとふれあい広場が、賑やかに開催されました。

展示会場には、歴史的物品、古文書、写真や絵・盆栽・陶芸等が飾られ、ステージ発表では吹奏楽・フラダンスやマジック等の発表もありました。恒例の抹茶の接待も大変好評でした。

又、喜寿・米寿・卒寿以上の、長い間地域に貢献されてきた百五十二名の方の表彰も合わせて行い、これからの皆様のご健勝とご活躍を、心から祈念し、お祝いしました。

講演会では、塩沢知治先生の「これからの人生、益々生き生きと」と題した腹話術、プロジェクターを使ってのお話をお聞きし、懐かしさと笑い声で会場があふれました。

又、区民会館広場で行った消防団と子供達のふれあい広場も、今年はスタンプラリー形式で行い、例年にもまして好評でした。

子供からお年寄りまでが参加できた、ふれあい広場でした。

区の情勢について

区長 下井 美紀男

で先ず身を守るための話し合いを常に持

(一) 今年の総合防災訓練は八月三十一日でした。避難者数にみる訓練参加者は一五一五人でした。区民の皆様の防災意識は高く、この夏は大地震が予測されているのを忘れさせるほどに局地的な集中豪雨が南木曾や広島などであり、土砂災害や洪水の怖さを見せられた夏でした。ところで防災・減災を考えると、自分達の地域や立地をよく知り、起こりうる災害を想定しながら小単位の集落

(二) さて次に区報を通じて

中豪雨が南木曾や広島などであり、土砂災害や洪水の怖さを見せられた夏でした。ところで防災・減災を考えると、自分達の地域や立地をよく知り、起こりうる災害を想定しながら小単位の集落



す。とりわけ、区民の抛り所区民会館の外回りの植栽の手入れや、草むしりなど、本当にきれいにしたいだいております。(三) 里山並びに竹林整備について触れますが、今年度も里山の五haほどの集約事業を計画中です。竹林整備についても、森林づくり支援事業で宮の北常会上あたりが実施されます。

中間監査報告

監査委員長 北沢義弘



下市田区監査規定に基づき、去る十月二十一日に区関係の上半期会計の中間監査を執行部の立会いのもとに実施いたしました。

区関係の一般会計・特別会計を精査いたしました。区費の徴収状況・諸収入徴収状況等、支出面においては、各科目の支払い内容及び金額について検証いたしました。正確に処理されている事を報告いたします。

公民館・萩山神社の上半期の決算報告書の内容を検証した結果、支払い内容・金額が正確に処理されている事を認めましたので、報告いたします。

平成26年度 下市田区一般会計中間決算報告書

(自 平成26年4月1日～至 平成26年9月30日)

決算収入額 21,006,688円 決算支出額 10,469,004円 差引残高 10,537,684円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
前期繰越金	8,164,439	8,164,439	0
区 費	15,770,000	7,730,100	△ 8,039,900
町 支 出 金	8,005,000	3,139,872	△ 4,865,128
財 産 収 入	1,150,000	6,430	△ 1,143,570
地元負担金	230,000	31,200	△ 198,800
消防義務金	1,700,000	1,570,000	△ 130,000
諸 収 入 金	1,740,000	364,647	△ 1,375,353
収入合計	36,759,439	21,006,688	△ 15,752,751

【支出の部】

△印減 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	13,404,000	3,809,333	△ 9,594,667
環境衛生費	1,005,000	0	△ 1,005,000
林 務 費	830,000	191,699	△ 638,301
土 木 費	3,923,000	945,082	△ 2,977,918
水 利 費	5,732,000	2,515,282	△ 3,216,718
防 災 費	2,776,000	1,241,928	△ 1,534,072
公 民 館 費	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
予 備 費	6,089,439	265,680	△ 5,823,759
支出合計	36,759,439	10,469,004	△ 26,290,435

平成26年度 公民館下市田支館 中間決算報告書

(自 平成26年4月1日～至 平成26年9月30日)

決算収入額 2,399,969円 決算支出額 1,541,567円 差引残高 858,402円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
繰 越 金	512,577	512,577	0
繰 入 金	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
補 助 金	520,000	381,300	△ 138,700
雑 収 入	1,000	6,092	5,092
収入合計	4,033,577	2,399,969	△ 1,633,608

【支出の部】

△印減 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	2,180,000	806,231	△ 1,373,769
事 業 費	1,820,000	735,336	△ 1,084,664
広 報 費	11,000	0	△ 11,000
予 備 費	22,577	0	△ 22,577
支出合計	4,033,577	1,541,567	△ 2,492,010

各自治会分館活動だより

学び知る喜び物作りの楽しさを皆で味わいました
「時の駅にて」

松田分館長（一區）

五月三十一日将来ノーベル賞を目標というコンセプトで保育園児から小学六年生までの参加による親子おもしろ科学教室実施。親子が実験と工作に挑み科学の面白さを体験しました。実験は液体チッソによる極低温の不思議な世界。液体チッソに浸したバナナが金槌と同様釘を打ち込む。バラの花が子供の手で簡単に粉々となるなど。工作は分光器に挑み光屈折の美しさを実感。PTA・保護者の愛情たっぷりカレーをいただきました。



下二分館事業

北沢分館長（二區）

本年度二区では三件の行事を計画しました。

六月一日に常会対抗のペタンク大会を行い約七十人が参加しました。

七月十二日は今年で二十四回目になる下二ふれあい納涼祭を行い四百五十人余の皆様に楽しんで頂くことが出来ました。

十月十三日に計画した下二ふれあい運動会は、数回の会合と準備、賞品を用意しましたが、台風十九号の上陸が予想され中止しました。多くの皆様に分館事業へ参加頂き有り難うございました。



力行会

ふれあい運動会

久保田分館長（三區）

十月十二日高森南小学校に於いて総勢四百五十名位の参加にて運動会が午前十時開会にて行われました。台風十九号が近づき心配される中、実行委員及び常会長さんの協力を頂き準備を進め、当日心配した天候も運動会日和となり来賓各位の参席により開会。常会対抗、水入れ競争等や紅白対抗大玉送り競争等に選手への応援合戦を繰り広げ、有志参加の園児以下の宝探しは可愛く微笑ましい競技でした。パン食い、宝釣り競争に来賓者も参加され熱き競争が続き、楽しい一日となりました。



ふれあい広場

ミニ運動会

木村分館長（四區）

九月二十八日、下四ふれあい広場・ミニ運動会が区民会館で開かれしました。皆さん稲刈りで忙しいなか、多くの方々に参加頂きました。健康ストレッチで始まったミニ運動会。子供も大人も一緒に参加出来る種目が沢山あり、区長・支館長はじめ多くの来賓の皆様にも競技に参加頂き、熱く盛大な運動会になりました。「紅」の太鼓が始まった演芸会。漸進会の踊り、子供達によるかわいらしいダンス等、アンコールもあり楽しいひと時でした。農作業で忙しいなか、ホットする一日になりました。



おいしいお茶だに！

鈴木分館長（五區）

六月に二十九日に、恒例の子供から年齢制限なしの、催物を行いました。今、特殊詐欺が社会問題となっている現在、高森町駐在所の西田署長に、電話の言葉詐欺に対する対策方法を、皆真剣に聞いていました。ひまわり健康体操の皆さんの指導のもと、体を伸び伸び動かしました。小学生有志による創作人形劇、ミュージック指人形を演じてもらいました。



マレットゴルフ大会

大島分館長（六區）

下市田六区のマレットゴルフ大会が親水公園マレットゴルフ場において五月十八日(日)十二時半より行われました。

試合形式は常会対抗戦で各常会ハチーム（一チームは二名以上）による常会毎の総打数の最小打数より順位をつけます。

当日は天候に恵まれ暑い位の中熱戦が行われました。応援者も多数で熱心に声援を送っていました。

三時頃に閉会となり、慰労会が各常会毎で行われ、大会以上の盛り上がりとなりました。





原保育園の園児の愛くるしいダンス、第四部

萩の郷祭り

ー7月26日ー

地域の輪 盛大に

去る七月二十六日に萩の郷祭りが区民多数参加のもと、下市田区民広場に於いて盛大に開催されました。

今年も萩の郷祭りを成功させようと、一ヶ月以上前から下井区長・坂牧支館長を中心に支館部員全員が一丸となり、計画準備を行ってきました。

当日は、私たち支館部員も各担当に分かれ、責任者指示のもと、朝から汗を流しながら準備を行いました。

去る七月二十六日に萩の郷祭りが区民多数参加のもと、下市田区民広場に於いて盛大に開催されました。



去る七月二十六日に萩の郷祭りが区民多数参加のもと、下市田区民広場に於いて盛大に開催されました。

力作展示文化祭り



ただけ、身体も温まりました。

「下市田史談会」「下市田古文書研究会」の展示はポリウムもあり見応えがありました。一つ一つの展示物を食い入るように見られる方も多く、その内容の充実感が伺えます。萩山神社二百年祭の北島新平先生の絵画が華を添えておりました。

十月十八・十九の両日、下市田区民会館を会場に平成二十六年の萩の郷文化祭りが行われました。

今年の展示作品数は昨年より幾分減っているように見受けられます。作品を出品することは、決して難しいことでも恥

人の個人から出品された作品が展示され、ふれあい広場にお出かけいただいた皆様も沢山見学くださいました。区民会館入り口の一室では、第一・二茶道クラブ及び五区の一期の会の皆さんによるお抹茶の接待もあり、朝方少し寒かった十九日は美味しいお抹茶が



ずかしいことでもありません。皆さんに見てもらふことで作品も向上していきます。「文化」は住民自身が日常生活の中で作るものだと思っております。こうした発表の場がだんだん縮小しないよう、皆さんで盛り上げていただきたいと思っています。

松島記



平成二十六年度 下市田文化祭り 萩の郷ふれあい広場



祝ご長寿ふれあい広場

十月十九日、秋晴れのき生きと・腹話術があり、なじみのある言葉で

下、七十五歳以上の皆様をお招きして、平成二十六年度「萩の郷ふれあい広場」が区民会館にて盛大に開催されました。

開催前には、茶道クラブの方によりお茶がふるまわれ、体が温まるおもてなしを頂きました。

ふれあい広場が開催され、午前の部は「塩沢知治先生」公演・回想法「これからの人生益々生



楽しくためになるお話しを、聞く事が出来ました。続いてご長寿の式典が行われ、喜寿・米寿・卒寿の方々が表彰され記念品が贈られました。

祝宴・昼食となり、午後の部の舞台発表が始まりました。「高森ニューサウンズ」の皆さんで「あまちゃん・叙情歌集・光と風の四季・演歌メドレー」など馴染み深い曲の演奏に会場は手拍子がおこりました。お酒とお腹が満たされた中で「吉川副区長」によるマジックが発表されました。すばらしい手さばきで楽しませて頂きました。次に「さくら会」の皆さんによる健康体操です。曲に合わせて手踊りをしました。次に「フラダンスグループ」ルアナの皆さんの踊りです。静かな曲のダンス、テンポのよい曲、そして曲に合わせて衣装も替わり、華やかな雰囲気となりました。



祝宴の最後は、参加者

今村記



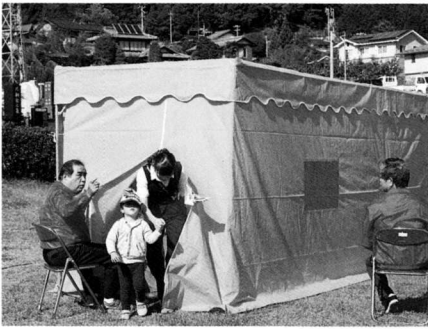
消防ふれあい広場

消防団第一分団分団長 酒井 晃

昨年に引き続き、今年も下市田区の皆様のご協力により、消防ふれあい広場を開催することが出来ました。

今年度、高森町消防団第一分団では「地域住民の方と交流」を目標の一つにあげており、多くの方と交流を深める事が出来ましたことに感謝しております。

今年の内容としては、防火服を着て放水体験、消防車乗車体験、水消火器での消火体験、煙体験、



非常食の試食、消防車との写真撮影を行いました。日頃

出来ない事を体験してもいい、参加された皆様は消防に対しての意識を少しでも高められるように企画しました。

防火服を着ての放水体験では、子供用防火服を着てもらい、実際に消防団で扱っているポンプ・

筒先・ホースを使用しての放水を行い、消防団員になりきった子供達に楽しんでもらえたと思います。煙体験は、煙の充満した室内に入ってもらい、非常食の試食では「おいしい」との声も頂きました。少しではありますが、有事の際の体験が出来たのではないかと思います。

地域の紹介

一区の紹介

一区自治会長

秋田 金一

一区の状況につきまして紹介いたします。

一区の人口は千六百五十一人、世帯数は五百二十六です。町の中心にあり、公共施設・学校等集中しています。学童の通学路としての歩道・防犯灯の設置が安全のために必要です。

一区の事業として「親睦」「融和」を基本に、春は子供さんを中心に「おもしろ科学教室」を夏には「ふれあい夏祭り」、秋には全町運動会のない



委員活動報告
環境衛生委員長 元木 秀和



皆様お世話になります。環境衛生委員会の報告をさせていただきます。

先ず委員の活動として毎月一回の資源ゴミ・埋

面があります。各種事業を行う事により親睦が図られるよう楽しんで、一人でも多くの方に参加して頂ける企画を練っています。

七月のワンバウンドバレーボールに優勝いたしました。過去は勝つ事が普通でしたが、近年町の大会では良い成績を収めていません。昔の一区が帰ってきました。

地区の課題として「ふれあい会館」の土地買収がございました。町・地権者の方々に協力いただき、長年の懸案の実施を考えております。

立てゴミの回収時の立会いを朝七時から八時の間にしています。

そして、皆様から回収させて頂いたゴミは、町で定められた分別方法に基づき分別します。

その他に、五月と十一月の年二回行われますゴミゼロ運動の日には、町の皆様に朝早くから集まって頂きゴミを拾って

町をきれいにさせて頂いております。皆さまが拾ってきたゴミは、缶・ペットボトル・その他ゴミ等に分別し、ゴミの量、そして参加人数等を町へ報告しています。

また、八月には有害ゴミの回収もあり、乾電池・蛍光管・水銀等に分別しています。

このような活動をしていきますが町の皆様には、常日頃ご協力頂き、大変感謝しております。またご意見などありましたら町の環境係の方へ報告させて頂きますのでお申し出下さい。今後とも、ご協力よろしくお願い致します。

「ふれあい会館」の土地買収がございました。町・地権者の方々に協力いただき、長年の懸案の実施を考えております。

「三年目の被災地を訪ねて」

二区 倉沢千穂子



今年五月、岩手・宮城・福島を訪れる機会に恵まれました。震災直後、すした。

随想

現地では未だ生々しい傷跡が残されている場所や、津波で流された海岸沿いには十メートルもの盛

り土をするための巨大なコンビナートが作られて、復興とは名ばかりの現状がありました。福島においては時間が止まっているのかと思われるばかりの惨状でした。三年前の映像が記憶に新しいはずなのに、私の日々の中では確実に薄れて来つつあります。仮設住宅の皆さんが「こうして遠くから訪ねて来てくださるだけで嬉しい」とおっしゃった言葉は今も重く私の心にしこりのように残っています。

ハワイアンソングの心

六区 高橋直美



それを踊る歌（詞）がありそれに伴うリズムや音楽があります。陽気に腰を振って踊っているだけに見えるが、フラの動きはその歌詞の内容や意味を表現する手話中心のジェスチャーなのです。その昔、ハワイを含むポリネシアの島々には文字が無く、歴史上の大切な事柄はすべて祈りの言葉として伝えられました。時代の流れと共に

高森町でフラダンスのグループを作って今年で六年目になります。「フラ」とはハワイ語で「踊り」のこと。フラには、

に神話や島々の出来事なども歌にし伝えたのです。日本で親しまれているハワイアンソングは数多くあります。その特徴は、ハワイ語の歌詞には隠れた意味が多く存在することです。自然の情景を歌った詞の裏に恋愛・哀愁・尊敬・祈りの気持ち

代議員会研修旅行

重も大分増えて健康状態を見て回り落ち着いた気持ちになれました。最後の見学場所は、野生では居なくなってしまう朱鷺を間近で観る事が出来ました。近い将来日本どこかで朱鷺の飛ぶ姿が見られる事を期待し、帰路に着きました。

九月四日・五日に「朱鷺」のいる佐渡島へ行きました。直江津港迄バスで直行し、乗船時間約三時間のフェリーに乗り佐渡に渡りました。最初の見学場所佐渡歴史伝説館には、あの有名なジェンキンスさんがこの観光施設で土産物を買っていました。日本に来てから十年が経過し、当時より体

重の塔と、趣の有る境内を見て回り落ち着いた気持ちになれました。最後の見学場所は、野生では居なくなってしまう朱鷺を間近で観る事が出来ました。近い将来日本どこかで朱鷺の飛ぶ姿が見られる事を期待し、帰路に着きました。

二日目最初の酒蔵見学では、酒の試飲で少し気分が良くなって次の妙宣寺に向かった。重厚な五

六区 酒井博之

日赤テント寄贈

長野県共同募金会より

テント一組を調達

赤い羽根共同募金による「避難所用物品整備事業」としてテント一組（三方幕を含む）を申請し、その決定を受けて過日調達することが出来ました。この事業は「安心・安全なまちづくり支援、安心・安全の暮らしを区民とともにつくる活動の支援」を目的として配分されるものであり、いざ災害が発生した際、又防災訓練等に有効に活用して、大切に使用して行きた



愛が込められています。私達は、ハワイの歌を心に感じて伝統文化であるフラを大切に楽しんでいます。

いざ災害が発生した際、又防災訓練等に有効に活用して、大切に使用して行きた



最後の大会

中三 佐々木舞歩(五区)



けても、みんな笑って終われましように。」と拝みました。

あとでみんなに「何て拜んだの?」と聞くと、なんとみんな同じような意味のことを拜んでいました。

そこで、やっぱりみんなの心が通じ合ってるなと感じました。

いよいよ試合が始まって、須坂東と三対一で負け。次の浅間中とは三対一で勝ち。次の鎌田中は三対二で負けてしまいま

初勝利

小六 山崎樹香 宮嶋朱夏(四区)



十月四日に小学校で最後の運動会がありました。この運動会で、特によ

した。リーグ敗退で私の中学校生活最後の部活が終わりました。

試合が終わった直後は終わったという実感がなかったけど、相手チームとあいさつを交わしたとき、涙がとまらなくなりました。

でも、みんなは笑っていた。観音様に拜んだ通り笑っていた。その後も暗い表情になることなく、みんなで一緒にいた。

かったのは、きば戦です。私は白組で、練習では、白組が負けていました。運動会前日には、白組全員で

会当日、一回戦目では、みんな作戦通りに動いて、いくつものぼうしをとりました。その結果白組は赤組に勝つことができた。とてもうれしかったです。

二回戦目は、大将戦で、大将のぼうしをとったチームが勝ちというルールでした。二回戦目が始まる

でも涙で顔はびっしょり、鼻も目もみんなそろって真っ赤だった。そんな状態でも笑っていたのは悔いがなかったから、この二年半部活をやった嬉しさがあつたから、目標だった県大会に出場することができたからだと思う。

とにかくここまでこれたのは、部活の楽しさがあり、後輩がそばで支えてくれたから。先輩が部活の大切さを教えてくれたから。親が支えてくれたから。親が支えてくれ

た。今ならいい思い出です。とても辛かったことも、今ならいい思い出です。

と、一回戦目と同じ作戦で進んでいき、みんないきなり大将をせめに行きました。大将を守るきばを次々にたおして、私たちのきばが大将のぼうしをとりました。みんなガッツポーズをしていました。

初勝利することができて、とてもうれしかったです。この運動会でよかったことはもう一つあります。それは、組体操です。練習のときとはちがって、たくさん人の前でやっただけ、すごくきん

ちようしました。きんちようしました。

たから。先生やコーチがいたから。仲間が本気でがんばってくれたから、自分も本気になってがんばれた。

何度も辛い思いをし、やめたいと思ったこともあったけど、こんな自分を必要としてくれる仲間がいてすごくうれしかった。もう一緒に部活ができないうちにもういらないけど、二年半やってこれて楽しかった。

とても辛かったことも、今ならいい思い出です。

その中できんちようしたことが三つあります。一つ目は、一人技です。一人でやる時は、まちがえたらすぐ目立つのできんちようしました。私は練習の時移動しない所で、まちがえて移動してしまいました。

二つ目は、タワーです。土台の人の上に、三人立って、その上に一人立つと言う技です。私は三人の中の一人でちょっとでも動くと上の人がおちてしまふし、人前でやるので、きんちようしました。

きんちようしました。

編集後記

今年は町主催の運動会が行われない年ですが、隔年、各自治会において独自に運動会・演芸会等を企画して、身近な地域の親睦を深めています。こうした自治会・分館の活動を「自治会だより」として区報に紹介しました。行事に参加し、交流し、一緒に楽しむことが大切ではないか。

(本区報・三頁参照)

三つ目は、大ピラミッドです。運動会の組体操の練習で男子のを見ていた時、男子のピラミッドがくずれてみんな痛がっていたので、私は土台の一つ上だから、上の人がおちてきたらみんながけがをしてしまうので、本番はとくにみんなきんちようするのでもうきんちようしたけど大成功してよかったです。もう運動会に参加できないけど、六年間の中で最高に楽しい運動会にできてよかったです。

わたしの作文



ぼくの作文